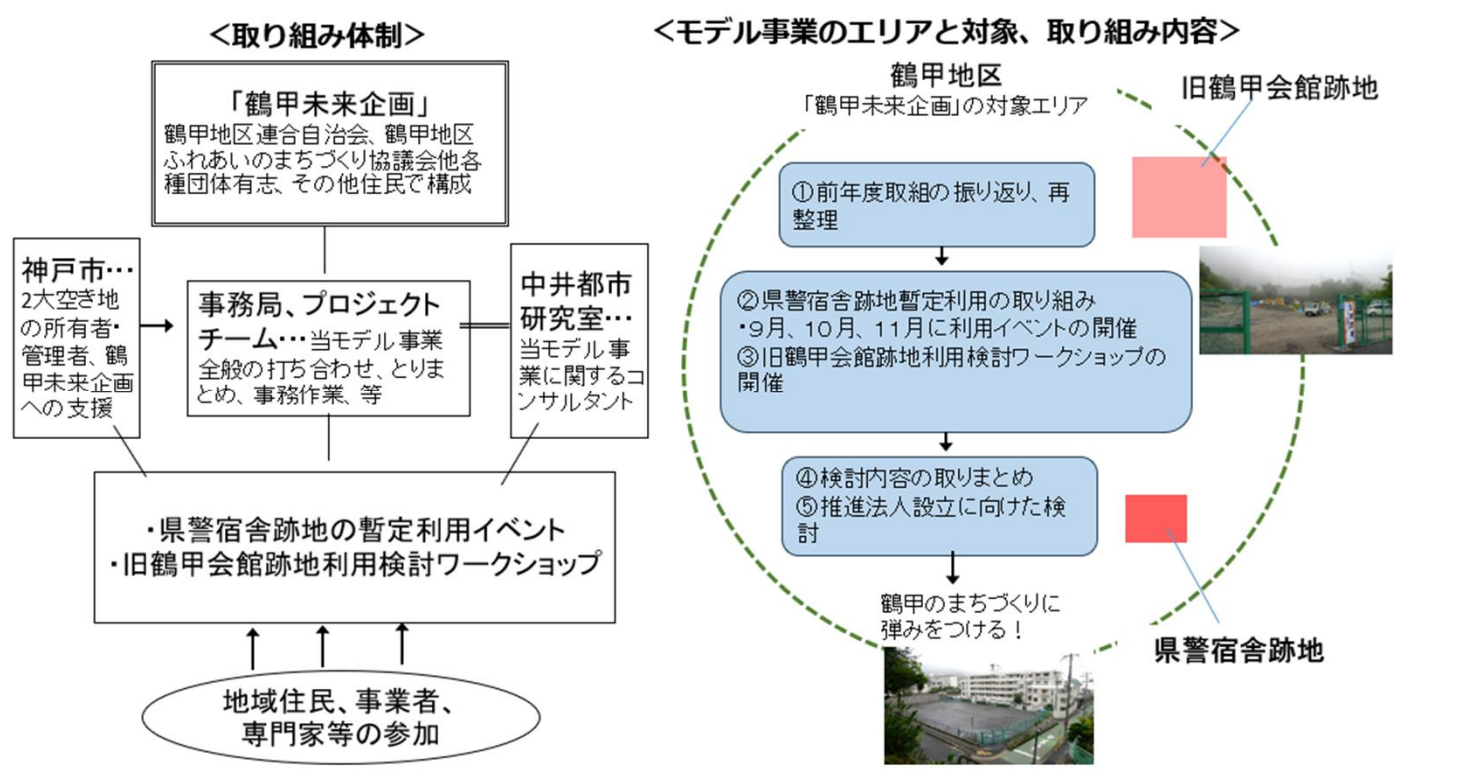


令和7年度所有者不明土地等対策モデル事業
鶴甲団地の2大空き地を、実際に使っていくことで広く住民の参加や関心をもたらして
“オールド・ニュータウン”再生に結び付ける(兵庫県神戸市 鶴甲未来企画)

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
兵庫県 神戸市灘区 鶴甲地区 (鶴甲2丁目～5丁目、 水車新田、および六甲 台町の一部)	灘区山麓部に55年前の高度成長期に開発された団地で、現在は六甲山山麓部で神戸大学も地区内に有する閑静な文教住宅地。最寄り駅である阪急六甲駅から約3kmに位置し、市バスも2系統あり交通利便性は高い。	団地のまちづくりを考えていくために、検討すべき重要な空き地（タネ地）が2か所あり（鶴甲会館跡地、県警宿舍跡地）、地域再生に求められる機能の導入、老朽化した団地の建替え時の仮移転地として期待されている。 県警宿舍跡地は、過年度に策定した利活用案に基づき暫定利用を積み重ねることで地域住民の参加と関心を集めていくこと、鶴甲会館跡地は、的確で効果的な利用案を策定できるかが課題。	● 県警宿舍跡地の暫定利用の実施（週末月1回のマルシェの実施を予定） ● 鶴甲会館跡地に関するワークショップ（計2回）を実施し、有力案の絞込、実現のプロセスまで検討した案に仕立て上げる。 ● 当地域内にあるNPO団体と協議し、推進法人設立についての検討を行う。

事業内容・スキーム

- 2大空き地の一つである県警宿舍跡地に関しては、前年度の成果である計画を具体的に実施し、今後継続的に取り組むことができる体制をつくる。
- 旧鶴甲会館跡地に関しては計2回のワークショップを実施し、より広範囲な住民の参加を促すとともに、神戸大学との連携を重視した利用案を作成する。
- これらを継続的に実施していくための法人化の骨格案を作成する。



モデル事業による取組成果

県警宿舍跡地を活用したイベントの開催	法人設立に向けた検討	関係主体との関係構築
県警宿舍跡地を活用したイベントを全3回実施し、参加者は延べ約550人となり、取組の周知、理解促進に寄与するとともに、ワークショップ参加者からコアメンバーとして運営側に参画する人材も育ってくる等、主体性の醸成にもつながった	空き地の運営も含め、オールド・ニュータウン再生という包括的な経営も視野に入れて法人設立の目的や内容を検討（空き地の運営、築60年近くの集合住宅の管理等を検討・実践する法人を想定）	神戸市（公共空間の暫定利用に対する協力）や神戸大学（会議での連携）との関係性が深まっており、今後の展開（大学でオープンする食堂の地域開放等との連携）に向けた機運を醸成